

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	〒104-00054 中央区勝どき4-8-14
園名	アスク勝どき保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語～国と文化～

<テーマの設定理由>

保育園の給食で様々な国の料理が月に1回出ていて、これをきっかけに様々な国について知るきっかけになってほしいと考えたため

2. 活動スケジュール

11月～1月にかけて月に1回英語の講師を招いて他国の文化に触れる機会を作り、国に寄っての挨拶や文化の違いを子どもたちが感じられるようにした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

世界地図・・・調べるために使用

国旗パズル・・・国旗を知るために使用

国旗図鑑・・・国旗の違いを知るために使用

色鉛筆、クレヨン・・・表現を絵におこす際に使用

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える：

郷土料理や世界の料理を給食で食べる中で子どもたちから「これはどこの国？」「どんな国なの？」などと疑問が生まれた。国旗を見ることでどんな文化があるのかを知り、どんな国なのかも考えるようになっていった。

探究活動の様子：

提供されていた給食のメニューからインド、イタリア、フィリピンについて興味を持ち、英語の講師に問いかける姿があった。英語の講師から英語の単語を交えて根付いている文化や有名なものについて教わることで、英語を学びながらその国のことを知る機会になっていた。知っていく中で「これ知ってる。○○だよな。」と自分が持っている知識を伝えあったりする姿も見られた。その中で日本にあるもので似ているものを見つけたり、日本と海外で違うものに関しては何が違うのかをグループごとに考え英語で伝えあったりした。

ふりかえり(保育士の気付き)：

国旗について学ぶまでは国旗を意識することが少なかった子どもたちが、すくわくに取り組んだことで興味をもち「これはどこの国旗？」と絵本を見ながら質問したり、国旗同士の似ている箇所を

見つけたりしていた。今まで興味がなかった様々な国に国旗をきっかけに興味を持ち、知見を広げる要因となることが出来た。

【4歳児実施分】

問いを考える：

郷土料理や世界の料理を給食で食べる中で子どもたちから「これはどこの国？」「どんな国？」などと疑問が生まれた。国を知る中でどんな国旗か、どんな国なのかも考えるようになっていた。

探究活動の様子：

提供されていた給食のメニューからインド、イタリア、フィリピンについて興味を持ち、英語の講師から学ぶことで、根付いている文化や有名なものについて知る機会になっていた。国よっての挨拶の違いに気づき「この国ではどんな挨拶をするのか。」という疑問が生まれ、グループごとに調べた上で実際に先生や友達に使ってみたりしていた。学ぶ中で様々な国旗を見て似ている国旗がある事に気づき、自分で真似て描いてみたり、違いについて友だちと英語で話し合ったりしていた。

ふりかえり(保育士の気づき)：

身近にある物の国との関係や日本との関連性の気付いて興味を持つきっかけになった。プログラム後には保育室に掲示してある世界地図をみて教わった国がどこにあるのか毎回探していた。身の回りにあるものが別の国発祥のもの、別の国から来ている物ということがわかり、世界に興味を持つきっかけになっていた。

【5歳児実施分】

問いを考える：

郷土料理や世界の料理を給食で食べる中で子どもたちから「これはどこの国？」「どんな国？」などと疑問が生まれた。国を知る中でその国がどんな国旗か、どんな国なのかも考えるようになっていた。

探究活動の様子：

提供されていた給食のメニューからインド、イタリア、フィリピンについて英語の講師から学び、根付いている文化や有名なものについて知る機会になっていた。給食で食べたことのあるご飯やおやつが実際にその国にあることに気が付き、日頃食べているものの中にも沢山の国が隠れてい

ることがわかった。給食中も「これどこの料理かな」と友だちと話し合う姿も見られ、その後実際に調べたり、栄養士に聞いたりして探究していた。また、国旗にも興味を持ち、レゴブロックを使用して国旗を真似たものを友だちと作ったりする姿が見られた。また、講師から配られてた塗り絵を通して、こんな色の物があつたらいいよね等とグループごとに英語で話し合いオリジナルの仮面や車を作っていた。

ふりかえり(保育士の気付き):

国と文化という身近な内容が子どもたちにもわかりやすく、内容に対しての興味をととも示していた。もともと持っている知識もあつたため、英語でも取り掛かりやすく、理解しやすい内容だった。知っている知識をみんなで伝えあつたり、わからないことに対して考えたり調べたりする良いきっかけになった。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	中央区勝どき4-8-14
園名	アスク勝どき保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語×自然

<テーマの設定理由>

園庭で遊んだり、食育で栽培活動を行う中で自然に興味があり、より興味を深めて自然について考えるきっかけになってほしいと考えたため

2. 活動スケジュール

6月～10月にかけて月に1回専門の講師を招いて身近にある自然を英語を通して学び、探究活動が出来るようにした。その中で興味関心を持ったことに対して問いかけを行い、子どもたちが興味を持ったことを掘り下げていった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
図鑑・・・身近にある自然を調べるために使用
廃材・・・廃材を使用した製作に使用
色鉛筆、クレヨン・・・動植物の塗り絵や園児の記録の際に使用

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える：

英語を通して自然について学ぶ中で英語では何というのかを学び、どんな種類があるのか等疑問を広げていった

探究活動の様子：

英語の学びの中で自然の成り立ちについて学び、植物の成長過程に興味を持ち、戸外活動を行った際に植木や花壇をみて植物の成長について考える姿があった。「これは何の成長途中なのかな?」「大きくなったら何になるんだろう?」等とグループで話し合う姿が見られた。園内で育てていたきのこにも興味を持ち成長過程やきのこの種類の成長の違いなどをグループごとに話し英語で調べたり、探究していた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

自然を学ぶ中で子どもたちが一番興味を持ったのが植物の成長過程だった。英語では難しいと感じる場面も多かったが、学ぶきっかけがあったことでより一層興味を持つことができて良かった。

【4歳児実施分】

問いを考える：

英語を通して自然について学ぶ中で英語では何というのかを学び、どんな種類があるのか等疑問を広げていった

探究活動の様子：

自然の成り立ちを英語で知っていく中で蝶にも種類がいること、ほかの植物や生き物にも沢山の種類があることを知り、グループごとに似ている物の違いを探したり、話し合いながら調べたり、していた。その中で保育園の周辺にはどんな自然があるかという疑問が生まれた。その疑問をもとに秋探しを行い、近くの公園で落ち葉拾いやどんぐり拾いをして「ここにこんなものあるよ」と友だちと発見を共有していた。拾ってきた物の種類をグループごとに園で英語では何というのか調べたり、製作に使用したりして楽しんでいた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

自分の知っていることを講師や友だちに教えたり、知らないことは「どうして?」「ほかに何かあるの?」と興味を持って質問していた。ちょっとした違いに気付き、動植物にも個性があることを各々が気付き、子どもたち一人一人の視点が違うことが分かった。それぞれの感じたことや経験したことを基に言葉がけをしていきたい。

【5歳児実施分】

問いを考える：

英語を通して自然について学ぶ中でこれは英語で何というのか、などの疑問と共にどうしたら自然を守れるのかをみんなで考えた

探究活動の様子：

自然の成り立ちを知っていく中で同じ名前の植物や生き物にも種類があると知り、自分たちで英語で調べたり、調べたのを真似て色塗りしていた。また、想像を膨らませ友だちと話し合いながらこんな種類がいたらいいよねと少人数で話し合いながら塗り進めていた。自然を知る中でリサイクルも学び、どうしたら自然を守れるかをみんなで考えていた。その中で廃材を捨てるのではなく、使って何かおもちゃを作るという案が出て、遊びの中で友だち同士と一緒に廃材を使って制作をしていた。また、廃材を使う中でテープ類やのり等の使い方にも注意して教え合う姿があった。

ふりかえり(保育士の気付き):

キャストが用意した活動シートは1回ずつ振り返りがしやすいようプリントや塗り絵を用いてわかりやすくなっており、子どもたちも理解しやすいように感じた。またそういった道物を取り入れることで、プリントを友だちと一緒にいき疑問に思ったことを意見し合ったり、調べ足りすることで探究する、理解を深める姿が見られた。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	〒104-0054 中央区勝どき4-8-14
園名	アスク勝どき保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

速く走るためには

<テーマの設定理由>

日頃から園庭や屋上を使用してかけっこや鬼ごっこをしている。また、運動会でかけっこやリレーを取り入れているため、どうやったら走れるのか、速くなるのか考えるきっかけにしたかったため。

2. 活動スケジュール

6月～1月に行い、月に1回専門の講師を招いて走る時の姿勢や形、遊びなどを子どもたちと話し合い探究活動が出来るようにした。また、子どもたちの問や考えによって次回の内容を変更できるようにした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ストップウォッチ・・・タイムを計測するために使用
ラダー・・・歩幅を大きくしたり、細かく動かしたりするために使用

4. 探究活動の実践

【3歳児実施分】

問いを考える：

速く走るためにはどうしたらよいかを子どもたちに問いかけるとともに、走る時の姿勢や動きからどうしたらよいか子どもたちに問いかけた。

探究活動の様子：

最初は”速く走るためには”という問いかけに対しては難しい様子もあったが走っている時の動きなどを問いかけると「腕を動かしている」「足がいっぱいごいてる」などと子どもたちからの反応があった。

子どもたちからは片足跳びをしてから走る、足の幅を大きくしてみる等の案が出たため、練習してからタイムを計った。タイムが変わらなかった練習もあれば、速くなった練習もあった。結果を踏まえて少人数グループで話し合い、もっとたくさんやったら速くなるかも、「スタートも大事なのは？」などの考察に繋がっていた。

運動会後からは4,5歳児の運動会の様子にも感化され、もっと速く走りたい、リレーがやってみたいなどの意欲も出てきて楽しんでいった。

ふりかえり(保育士の気付き):

3歳児には少し難しいと感じる場面もあり、最初は意見が出ないこともあった。4,5歳児の様子を見て真似てやっていく中で少しずつ理解し言えるようになったので、もう少し意見を聞けるような環境を整えるとより良くなるのではないかと感じた。

このすくわくを通して普段の戸外活動でも走る時のフォーム等も思い出したり、どうしたら速くなるのかを考えながら遊ぶ場面も見られるようになったので取り組んで良かった。

【4歳児実施分】

問いを考える:

速く走るためにはどうしたらよいかを子どもたちに問いかけ、走る姿勢や動きも考察したり。細かくたくさん足を動かした方がいいのか、歩幅を大きくした方がいいのかなど子どもからも疑問が生まれた。

探究活動の様子:「速く走るためにはどうしたらいいか?」という問いかけをした時に、歩幅を大きくした方がいいか細かく早く動かした方がいいのかなど考えてグループ内で意見を出していた。まずは大きく動かすことに要点を置き、大きく足を動かす遊びは何かを考えた。少人数で話し合い、片足跳びをしたらいいのでは?丸から丸に跳ぶのがいいのでは?という案が出たため試してみたり、スキップしたらどうかなどたくさんの方を試していた。タイムが変わらないと「もっと広い場所で測ったら速くなってるかも」等と言う意見もあった。次に速く足を動かしたらという意見が出たため、体操教室で使用したことのあるラダーを使用して細かく足を動かしてみた。大きく速くはなることはなかったが意識して走ったり、かけっこしたりしている姿が見られた。最後は屋上でタイムを計測すると6月よりも速くなっていて喜ぶ姿もあった。

ふりかえり(保育士の気付き):

最初は生まれた問いに抽象的な部分があり、意見が出づらいこともあったが、回を重ねるごとにやってみたいことや「こうしたらいいのかな?」等と意見が出るようになった。トライ&エラーを繰り返すことで次々は別の物をやってみよう等と考える力が少しずつ見られるようになった。

【5歳児実施分】

問いを考える：

速く走るためには何をしたらいいかをみんなで考え実践した。実践する中でタイムが変わったもの、変わらなかったものを比較し、次はどんなことをしたら速くなるのかを考えた。

探究活動の様子：

「速く走るためにはどうしたらいいか？」という問いに対して「準備体操が大事」「筋トレする」「大きく足を前に出す」などたくさんの意見が出た中で最初は足を前に出すことを意識してタイムを計測した。

どのような練習が効果あるか、ないかを練習後に計測し効果を試していた。速くなっていなかった場合はグループごとに話し合い、動きを変えたり、どのような練習したりすれば速くなるのか毎回意見を出し合って考えていた。意見を出し合う中でその動きを速くするにはどういう姿勢がいいのか等の疑問も生まれ子どもたち同士で考えたり教え合ったりしていた。

最後にはみんなが今まで考えた練習をすべて取り入れて走ってみると、全員のタイムが速くなっていた。

ふりかえり(保育士の気付き)：

どうしたら速く走ることができるかを子どもたちなりに考え意見を出す良いきっかけになった。すくわくで学んだことから子どもたちがやりたいこと・試してみたいことを決めて遊びに取り入れていき、タイムが変わらないと悔しい気持ちも芽生え、どこが良くなかった、次はどうすればもっと良くなるかなど失敗からも学び探究する力が身につくと感じられた。

5. 活動の様子が分かる写真

3歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



4歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5歳児

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

